

	桔梗が丘自治連合協議会 平成25年度 第10回 理事会 議事録
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成26年2月22日（土） 9：30～12：45
出 席 者	出席者・辻森、大垣、上田、河合、武仲、阪本（代理金谷）、野邊、西宮、竹原、加納、吉野、梅本、中村、山中、松村、田合監事、福森監事。森田地域担当監。 欠席者・鈴木、廣岡。
議事 決議事項 1. 議事録署名人 2. 桔梗が丘自治連合協議会規約改定について	大垣副会長が司会を務め会議が始まった。 辻森会長の挨拶の要旨 「毎日が寒い中、地道に活動が続けていただきありがとうございます。こうした活動が桔梗が丘、強いては名張のまちづくりの発展向上に大いに役立っています。昨年秋からの、新しいプロジェクト事業も本格化してまいりました。今後とも皆さんのご協力方よろしく願いをいたします」と述べた。 引き続き、辻森会長が議長を務め会議が始まった。 本会議の議事録署名人に野邊薫氏、吉野孝司氏の2氏を指名することに決した。 大垣副会長（総務委員長）より、桔梗が丘自治連合協議会の規約改定について、別添資料に基き概ね次の様に提案があった。 「自治連合会の代表幹事の選出方法に関する規約改定案を作成し、先週の定例自治連合会で承認をされましたので、本日、当理事会に諮らせていただきます。 改定の内容は第4章自治連合会（選出）第40条の第3項を次のように改め、第4項を追加します。 <改定案> 「第3項の改定：第3項 代表幹事は4ブロックの代表者の互選、もしくは4ブロックの代表者が推薦し、連合会が承認したものとする。 「第4項の改定：互選により代表幹事を選出したブロックは、別に幹事を選出しなければならない」 現在の規約では、自治連合会の代表幹事が即、協議会会長に就任することになっていますが、各自治会長、区長さんは比較的短い期間で交代されると

2. 平成25年度 公民館会計の予 算補正について	ころがあるようです。一方、まちづくりの事業は継続性の高いものが多く、昨年から新規プロジェクト事業も加わっています。そこで、このように改定することによって、現役の4ブロックの幹事さん、OBの方、その他幅広く選出することが出来るようになり、かつ継続的な事業に対処していただき易くなると考えています。皆様のご意見をお伺いしたいと思います」と述べた。 出席者からは特に異議は無く、採決の結果、桔梗が丘自治連合協議会規約改定案は提案どおり承認された。 松村事務局次長から、公民館会計の予算補正について、別添え資料に基き概ね次の様に提案があった。 「公民館会計の光熱水費の平成24年度は総額3,225,147円でありましたが、本年度は最終予測額が約356万円となり、当初予算額334万円に対して約20万円強の不足となることが予測されます。両年度の電気、ガス、水道の項目別の額を資料に記載をしていますが、昨年比電気代が特に増加をしています。そこで不足額を予備費並びに事業費から支出できるよう予算補正を諮らせていただきます」と述べた。 Q. 提案の補正は予備費の流用ということで良いと思う。 A. そのように処理をします。 松村：電気代の増加の要因は、この冬の寒さとふれあい茶房の開店の影響と考えられます。一方、節電対策として、中部電力との契約電力の見直しに向けて使用電力の調査機器を設置しています。 Q. 電気代の増加の理由は了承しましたが、予備費からの流用によって他の科目への影響はありませんか。 A. その他の科目は予算額の範囲で収まると考えています。 金谷：電気代の増加の一因がカフェの開店の影響があると思います。しかし、光熱費等をカフェ事業で賄うのは当面困難な状況ですので、どのような形で負担出来るのか、今後の検討課題とする必要があると思う。勿論、カフェ事業で賄えるようになれば良いのですが。 金谷：これまでは公民館との間で詰めた検討はしておりませんが、次年度、平成26年度以降の課題として検討をしていきます。 Q. 水道費の増加もカフェの影響と考えて良いのか 大垣副会長：影響はあると思います。電気代も含めてカフェが開設されて半年なので、もう少し時間が経過してから、(約1年間くらい)協議会との間で協議する必要があると思います。 辻森会長：住民のコミュニケーションを深める場として開設したカフェと
--	--

報告事項	ということもあり、今後は費用負担と、設備面の整備を考えて行きたいと考えています。 その他、出席者からは特に異議は無く、採決の結果、公民館会計予算補正案は提案どおり承認された。				
1. 平成25年度「ニュースポーツ世代間交流大会」の実施について	西宮健康推進部会長から、平成25年度「ニュースポーツ世代間交流大会」の実施について、別添え資料に基き概ね次のような報告があった。 「健康推進部会が担当する本年度最後の事業となりますが、例年、恒例となっています「ニュースポーツ世代間交流大会」を、3月29日（土）午前中に桔梗が丘小学校で開催いたします。実施内容は、グランドゴルフ、クロリティ（スポーツ輪投げ）カラーリングを皆さんに経験していただくものです。 参加者の制限はしておりません。年々参加者が増えています。地域の皆さんには回覧、ポスターでお知らせを致します。特に子どもさんの参加をお待ちしています」と述べた。				
2. ゆめづくり地域交付金について	山中事務局長から、平成26年度ゆめづくり地域交付金について、別添え資料に基き概ね次のような報告があった。 「名張市地域経営室から、平成26年度のゆめづくり地域交付金の額が内定した旨連絡がありましたので、ご報告を致します。お手元に資料を配布してありますのでご確認ください。先日の自治連合会でも報告しました。算出根拠は例年と同じです。交付金の総額は昨年度比微増となっています。2枚目の資料に桔梗が丘地域のそれぞれの自治会・区への交付金が記載されております 大垣副会長：協議会の実質予算額は、交付金の総額から加算額を控除し、公民館会計から人件費負担額を繰り入れた額になります。				
3. 平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告について	松村事務局次長から、平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告（平成26年1月末）について、別添え資料に基づき概ね次の様に報告があった。 ＜協議会会計＞ 収入の部（1月） 取扱い無し 支出の部（1月の主な科目のみ） <table border="0"> <tr> <td>人件費</td> <td>740,897円（職員・館長報酬等）</td> </tr> <tr> <td>総務費（10月～12月）</td> <td>78,805円（コピー、印刷費）</td> </tr> </table>	人件費	740,897円（職員・館長報酬等）	総務費（10月～12月）	78,805円（コピー、印刷費）
人件費	740,897円（職員・館長報酬等）				
総務費（10月～12月）	78,805円（コピー、印刷費）				

	〃	31,260円 (ビジョン新規事業費)
	企画運営費	15,886円 (印刷費)
	住民交流費	△347円 (どんど戻入)
	〃	47,473円 (ニューイヤーフエスタ)
	教育文化費	△8,365円 (桔” ずセミナー戻入)
	快適環境費	11,438円 (講師料等)
	地域福祉費	26,000円 (いきいきサロン)
	報償費	150,000円 (地域環境推進員)
	支出合計	1,105,047円
収入累計23,886,792円から支出累計19,059,486円を 控除した預金通帳残高は4,827,306円となっています。		
＜公民館会計＞		
収入の部 (1月)		
	使用料	382,194円 (使用料)
	収入合計	382,194円
支出の部 (1月の主な科目のみ)		
	管理費 (消耗品費)	82,786円 (インク代、コピー用紙)
	〃 (光熱水費)	344,463円
	〃 (電話代)	13,860円
	〃 (委託・手数料)	202,874円 (エレベーター点検他)
	〃 (備品購入費)	7,581円 (掃除機)
	〃 (使用料等)	61,355円 (リース料等)
	〃 (車両費)	4,628円 (ガソリン代等)
	運営費 (報償費)	40,000円 (講師料)
	〃 (郵便料)	4,000円 (ハガキ)
	〃 (事業費)	2,924円 (終活講座・教室運営費)
	支出合計	768,449円
収入累計16,230,706円から支出累計13,297,977円と 手持ち現金156,346円を控除した預金通帳残高は2,776,383 円となっています」と述べた。		
以上の通り報告があった。		
引き続き議長は出席者に意見を求めた。		
福森監事：光熱水費が増加しているのは、この冬の寒さと、茶房開設の影響 と考えて良いですか。		
松村事務局次長：電気、ガス、水道共に要因は共通していると思います。		
野邊理事：4月から消費税アップが予定されているが、交付金にその点は		

	考慮されていますか。されていない場合は、次年度の各事業費は少なくなる ことになり、これを考慮して予算策定をしなければならない。 森田地域担当監：ゆめづくり交付金には反映されていません。公民館の指 定管理料には考慮されている。そのあたりの情報はお知らせします。 野邊理事：車両購入はどのような予定になりましたか。 山中事務局長：購入積立金は目標額に達していますので、本日、特別目的 積立金に関する内規、第4条第3項に基き、ご承認いただければ早速実行し たいと思います。 大垣副会長：今後軽トラックの使用頻度が増すと思いますので、100万 円以内で購入できれば実行することに賛同いただけますか。 出席者全員異議無く承認された。 その他に出席者からは、特に質問が無く報告は了承された。
4. 平成26年度 名張市総合防災 訓練の実施につ いて	辻森会長から、「平成26年度名張市総合防災訓練の実施日が11月30日 (日)に決定した旨、名張市危機管理室から通知がありました。例年、実施 期日の決定が間際になるので、早目に出してもらおうよう要請していました。 先日の自治連合会で、各自治会・区で取組む防災訓練等の計画の際には参 考にして頂くよう依頼をしました」と述べた。 <出席者の意見> ・ 昨年の結果の検証、反省点をきっちりと整理をするよう要請をしていま す。 ・ 先日の防災講演会でも「防災無線」の使い方、有効性について疑問の意 見が多かった。 ・ 災害時の避難所開設について、名張桔梗丘高校で作成された対応マニ ュアル(暫定版)を参考に配布をしています。参考にして下さい。
5. 名張桔梗丘高 校跡地問題(利活 用)について市長 面談の件	辻森会長から、名張桔梗丘高校跡地問題(利活用)について亀井名張市長 と面談した結果について報告があった。 「お手元に先日亀井名張市長と面談し、その内容をまとめ、お礼を兼ねて 提出した資料を配布しています。 高校統合問題は三教委の結論を納得するに至っていませんが、これからは 桔高の跡地利活用について我々の意向が反映できるよう進めていかなければ ならないと思っています。そのためには行政側の三重県、名張市に対して我々 の意見・要望を出していくことが不可欠です。特に名張市側とは綿密に連携 していく必要があるとの考えのもと、亀井名張市長と面談をしました。出席 者は上田副会長、野邊広報委員長、福森監事、名張市側からは亀井市長、上

	島教育長、森田地域担当監でした。 その際、桔梗が丘地域の意向は市側を通じて要望していく旨を申し出ました。内容は、跡地利活用の基本的な構想の検討にあたっては、①地域の実情の把握、②地域ビジョンや市場性との整合性、③跡地の利活用に関する基本的な考え方の検討をすること、そして、地域住民との合意形成のため、①構想段階前からの住民参加、②名張市との合意形成等に鋭意取組んで行きたいと考えています。高校跡地の利活用の検討にあたっては、これからも皆さんの意見を頂けますようよろしくお願いします」と述べた。
6. 災害時要援護者支援リストについて	辻森会長から、「災害時要援護者支援リストの作成の為、平成26年度に登録を希望する方を募る文書が危機管理室から対象者に送付されたと連絡がありました。平成25年度分の災害時要援護者同意者リストは先日協議会に届きました。但し防災ラジオがそろっていませんので、来月に配布をすることになると思っています。 しかし、こうしたリストを作成しただけでは緊急災害時には充分でないと思っていますので、今後、行政側とは更に検討・協議を進め、より良い方法を模索していかねばならないと考えています」と報告があった。
7. 住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業について	辻森会長から、「最近、全国的に課題になっている、郊外型住宅団地の空き家等の対策のひとつとして「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」が昨年、国土交通省住宅局から公表されました。この事業の公募に名張市が応募するのに伴い設立された協議会に桔梗が丘地域から参加をすることとしました。参加者は私、辻森と上田副会長及びもう一人の3人が参加したいと考えています。 事業の概要等の詳細は資料を参照して下さい」と述べた。
8. 委員会・部会報告	<総務委員会> 大垣副会長（総務委員長）から、委員会活動について概ね次の様に報告があった。 「去る、2月8日（土）雪の中を愛知県碧南市の日進地区に研修に行ってきました。参加者は16人（内、女性4人）で、皆さん熱心に研修をしていただきました。 この日進地区のまちづくり組織は、我々の組織設立の経緯とは大きく違い、碧南市のまちづくり事業モデルとして住民が自主的に設立したものでした。又これまでは、市からの財政支援も活動拠点も無いとのことでした。 本年度から、活動拠点を日進公民館に置き、公民館の管理業務の一部の請

	負や、資源ごみ回収をして、収入を得るようになったようです。 こうした状況の中で、まちづくりに熱い思いで活動をする方が30人もおられることに感心しました。市からの補助はまだまだ不十分のようですが、今後は発展されていくものと確信して帰って来ました。 次に、来月、プロジェクト事業に関する協議会規約の改定内容の説明と、情報の交換のため、各プロジェクトチームの代表者の連絡会議を開催いたします。 最後に、平成26年度事業のスタートに際し、各委員会・部会員の募集を回覧していただきますようお願いいたします」と述べた。 <企画運営委員会> 阪本企画運営委員長欠席の為、各プロジェクト事業の活動について、事業担当のチームリーダーから別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。 ふれあい茶房：金谷委員 「ふれあい茶房」ですが“ほっとまち茶房ききょう”の1月のオープン日数は18日、利用数676杯（一日平均38杯で）金額は59,400円でした。先日の定例運営委員会では、平成26年度の事業計画を協議し、公民館サークルの作品展示や公民館事業とタイアップした歌声ひろば、ミニコンサートの開催を検討していくことになりました。茶房の日曜開店については、ボランティア要員との兼ね合いを含めて継続検討していくことになりました。先程、話題になりました光熱費等の負担は引き続き検討課題としていただきたいと思います」と述べた。 お助けセンター設立プロジェクト：金谷委員 「お助けセンター設立に向けての作業は、1月29日（水）に会合を持ち、配食をテーマに話し合いました。 2月12日の定例会では1. センターの拠点となる事務所の開設に関連して、期間限定での候補として南公民館を取り上げる。その他、条件が揃ってくれば商店街の空き店舗等も候補として考える。将来的にはプロジェクト事業の総括事務所として展開が出来ればということになりました。2. 支援メニューのうち、給配食サービス限定で検討する分科会の立ち上げ、現行の配食サービスボランティア団体との連携を図る、等の事項を協議しました。その他、しくみづくりは現在会則等を検討中です。次回の定例会は2月26日（水）を予定しています。 只今、各種のプロジェクト事業がスタートし、多くの事業に関わらせて頂
--	--

きましたが、全ての事業に共通する課題は、企画運営のスタッフの不足、次代を担う方をどのように集めるかの2点になっていると感じています。これから皆で知恵を出し合っていかなければならないと思っています」と述べた。

みどり環境整備・保全事業：加納代表

「みどり環境整備・保全事業プロジェクトは2月3日（月）に定例会を開催し名称を「桔梗が丘みどりの会」とし組織、規約、事業計画をまとめていくことが決定しました。合わせてボランティアスタッフの募集をすることも決定しました。一方、毎月第3月曜日を作業日と決め、2月17日（日）には約20人位の方の参加を得て野鳥公園整備をして、縦間刈り込みを行ないました。今後も地域内の各公園で定期的（次回は3月7日（金））に整備作業を続けていきます」と述べた。

住居表示設置事業：吉野代表

「先月の会合の内容を報告します。鍛委員に關係箇所との折衝、設置場所の選定作業を進めていただくことになりました。その結果に基づいて、2月24日（月）の定例会議でまとめますので、次回の理事会で詳細を報告します」と述べた。

農楽園プロジェクト：福森サポーター

「農楽園プロジェクトは最も課題の多い事業ではないかと思っています。特に代表者、運営にあたる委員の選任等を終えて、新年度に向かう体制づくりをしなければなりません。先ず、この2月から3月にかけての状況を報告します。2月1日に試験農園整備作業として臨時堆肥入れ、耕運作業行ないました。15日は大雪で作業が出来ませんでしたので、今後の打ち合わせ会合を持ち、先程申し上げた課題となっている、組織、メンバー構成、業務分担等の原案の検討をしました。

3月からは具体的作業としてジャガイモ作付け等に入る予定をしています」と述べた。

子どもと地域の絆づくり事業：大垣連絡協議会理事

「次年度の事業計画を各校区で運営委員会で検討をしています。桔小校区の運営委員会は名称を「桔小絆キッズ」とし、3月1日（土）に会議を開き次年度の計画を協議する予定になっています」と述べた。

	<広報委員会> 野邊広報委員長から、委員会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。 「ききょう通信の60号の発行は、諸般の事情で3月中旬になります。今回の掲載記事は「リレーまちへの思い」を5番町1区上田区長にお願いしました。その他、桔梗丘高校跡地問題で、亀井名張市長との面談した内容を取り上げます。地域ビジョン関連では、お助けセンターの設立準備の現時点での状況の取りまとめを坂口代表にお願いをしました。2月8日の愛知県碧南市への総務委員会の研修の報告も取り上げています。 第2面では、地域だよりに1月～2月の各自治会の活動状況を掲載した他、紙面の都合によりですが、「福祉だより」では10周年を迎えた4番町のきむたくサロンの活動と、各委員会・部会のボランティアスタッフの募集案内を出来るだけ掲載したいと思っています。 ホームページへの更新とアクセス状況は資料に記載のとおりです。皆さんも一度アクセスしてください。 最後に印刷発注先の会社ですが、市内3社に見積もり依頼をした結果、事務局と相談の上、株式会社ユー（YOU）に決定しました。 今回の発行は、定時総会終了後の6月に予定しています」と述べた。 引き続き、議長は3委員会の報告について出席者に意見を求めた。 大垣副会長：桔梗が丘みどりの会の皆さんにお願いです。桔梗が丘地域にある小公園の整備について、整備の方法等を教えてあげてください。実際の作業は各自治会・区単位で行なうことになります。 野邊：地域ビジョン推進にあたって、各リーダーのもと、多くのスタッフが熱心に携わって進められている所はよく理解していますが、これらのプロジェクト事業は協議会の事業であるわけですから、企画運営委員会として全体としての取りまとめと、総括をして頂く必要があると思います。しかし、その所がよく見えないように感じています。協議会から独立した事業であればその必要はないと思いますが、広報誌に地域ビジョンに関する記事を掲載するためにリーダーの方に取材をしている時、特に感じます。 金谷：現在、地域ビジョンの七つ課題の最終目標の仕上げ、達成に向けて各プロジェクトチームが作業をしています。その作業の進行中、向かっている方向性、作業の進捗の状況を取りまとめて報告しています。それは最終的に結果が出た時点で、報告をすることは適当ではないと思っているからです。 従って、それぞれのプロジェクトチームがある程度、方向性、全体像が纏まった時点で皆さんにお知らせしていますが、その時点では地域住民の皆さん
--	---

んには分かり難い内容であると思います。自治連合協議会に対してお願いをしたいのは、プロジェクトの推進にあたっては、必要に応じて、人、物、金の補填をどのようにするのか、サポートが大変重要であるということをお考えいただきたいということです。その結果、プロジェクト事業が成果を収め、皆が喜べるようにしなければならないと思います。スタートしたばかりで、準備段階である今は、推進に関わる全ての事柄をプロジェクトチームに任せることは不可能だと考えています。各プロジェクト事業が独り立ちできるまで（期間は分からないが）、協議会のサポートは必要であり、これが今後の課題にもなってくると思います。

大垣：現在の所、協議会の窓口は企画運営委員会が担ってもらうことは間違いないのですが、地域プロジェクトに関連する協議会規約改定と組織改定の承認の後、再度、管理運営に関する調整・整理等どう処理を進めていくか考えねばならないと思っています。

金谷：現在、企画運営委員会が全ての窓口になっていますが、これからは自治連合協議会の委員会・部会とプロジェクト事業が、それぞれの関わり、連携することによって、プロジェクト事業を推進していくことが必要と思っています。

大垣副会長：各委員会、部会とプロジェクト事業間の関わりと連携のパイプ役をどうしていくか、自治連合協議会全体の中でのまとめ役が必要になると思います。

野邊理事：地域ビジョンの取り組みは、地域全体で取組まなければならない大変重要な事業と思っています。現在、スタートした個々の事業で様々な課題が出ているようですが、これをどのような形で処理していくのか協議会の、特に理事会で考えていく必要があると思います。プロジェクト事業が途中で挫折することはあり得ないと思っています。今の状況が良いとは決して思わないのですが。

大垣副会長：プロジェクト事業で個々の事例が事業全体に及ぶ課題、例えばお助けセンターで取り上げられている、事業統括事務所設置計画のような課題を協議会としてどのように取組むのか、検討していく必要があります。

野邊理事：地域ビジョンは地域全体で取り組んでいる事をもっと住民全体に周知し、地域住民全体が認識してもらえるようにすべきです。

河合理事：私が関わった「通学路花いっぱい運動」も住民の皆さんの間で認知されている程度はまだ低いと思う。こういったことは多少時間のかかるものです。しかし、時間がかかっても息長く継続していくことが大切だと思います。又その途中で出てきた課題（参加ボランティアの仕組み、財源等）の検証・検討することも重要です。

	金谷委員：ビジョンの推進に際しては、その代表、作業事務局の負担が増える。今は、これをどのように軽く出来るかが課題になっているし、ビジョンは出来上がった時点では、皆で運営して行けば良いと思いますが、そこに至るまでが大変苦労があることを理解して下さい。 河合理事：誰でもが携われるような仕組みを考える必要があると思います。そこでは自治連合協議会が関わる必要がある。 辻森会長：プロジェクトの推進にあたっては、協議会からの人、物、金の援助、協力は必要不可欠と思っています。それと、各プロジェクトに携わる方の意識のすり合わせも含めて、それぞれのプロジェクトチームが持つ課題を含めて意見交換の場を持ち、共通の問題認識を持つことも重要になっていると思います。 加納理事：みどり環境整備・保全事業なんかは比較的うまくスタートを切ったと思いますが、農楽園、住居表示設置事業などは、一部の方に大きな負担が掛かっている様です。このあたりのところを含めて再度考えてみてはどうでしょうか。特に住居表示設置事業は自治連合会に協力を求める事も1案でしょう。 金谷委員：住居表示設置事業は現在担当されている方が大変頑張ってくれていますので、ある程度お任せできる状況と思います 福森監事：農楽園プロジェクトは阪本企画運営委員長が2・3月できっちりした組織・体制づくりの努力をされているので、少し猶予期間を置いてもいいでしょう。 吉野理事：住居表示設置の計画の発端は、防犯パトロールの際に出た課題からスタートしたものです。従って生活安全部会は出来るだけ協力して推進してきました。これからも出来るだけ協力し、自治連合会に協力要請もして行きます。他のプロジェクト事業についても、各事業部会が協力出来るところは、そうしていくことが必要であると思います。 大垣副会長：総務、企画運営委員会が中心になって、プロジェクト事業の推進に関わっていかなければならないと思っています。各プロジェクト事業間の連携、調整、コーディネイト役を果さねばなりません。 福森監事：確認ですが、ふれあい茶房、子どもと地域の絆作り事業の事業報告と会計監査はどのようにしますか。 大垣副会長：子どもと地域の絆作り事業は内部に監査規定がありますので、これに従います。そして、事業報告と合わせて、定時総会で報告し承認を得ることになります。 金谷委員：ふれあい茶房は自治連合協議会の会計監査を受けることになります。
--	---

野邊理事：皆さんの色々なご意見を聞けて良かった。最終の達成結果だけでなく、それまでの計画の経緯、取り組みの課程を重要視して欲しいと考えます。一部の方に頼りきったものでなく、地域住民全体の力で達成できたことを証明するためにも重要と思います。我々はその認識をもっともつべきと思っています。

辻森会長：本日のご意見を元に、今後、プロジェクト事業を進めるに当たっての課題克服にむけて努力していきたいと思います。

引き続き、6事業部会の活動報告があった。

<健康推進部会>

<住民交流部会>

西宮健康推進部会長は退席の為、廣岡住民交流部会長が欠席の為、大垣副会長から、「健康推進部会は3月29日(土)のニュースポーツ世代間交流大会」の参加要請がありました。住民交流部会は特にありません」と述べた。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、部会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「2月20日(木)に本年度の研修会を実施しました。行き先は琵琶湖博物館で伊賀が昔、古琵琶湖であったこととのつながりや、琵琶湖について多くの事を学びました。

参加者は公民館職員、運転手を含めて18人でした。車中で定例部会を開き、部会の広報委員に岸本さんを選んだ他、来年度の桔” ずセミナーの日程等を決めました。要望事項として、南公民館の湯沸かし器の交換を依頼している旨、報告しました。以上が活動報告です」と述べた。

以上3部会の報告に対して特に質問は無く了承された。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「2月15日(土)、名張市武道交流館に於いて避難所開設・運営に関する講演会が、講師に(公財)市民防災研究所の細川顕司を迎えて開催されました。

大雪の翌日でしたが、参加者も多く内容も豊富で好評でした。当日の資料を配布していますので参考にして下さい。

1月18日(土)に、小・中学校の災害時の避難所開設についてのワーク

その他 1. 協議会評議員 選出届について 2. 市民公開講座 「教えて在宅医 療」	ショップが開催されました。その後、名張市危機管理室に問い合わせをした所、避難所に指定されている地域の学校の体育館の鍵の保管について、自主防災組織との間で特に取り決めは無いが、その他の事項も含めて、教育委員会と協議し改善していくよう検討する、との事でした。 監視（防犯）カメラの設置ですが、消費生活者の被害の未然防止、拡大防止の為、コープみえの協力で実態調査アンケートを実施しています。担当窓口は名張市総合窓口センターですが、当協議会には当センターから依頼がありました。このアンケート結果に基づいて監視カメラを個人又は街中へ設置しようとするものです。今月の防犯パトロール（青色回転灯装着車両）は5日、20日、の2回実施しました。15日は大雪の為、中止しました。いずれの回も異常はありませんでした」と述べた。 上田副会長から、講演会の補足報告。 「避難所開設・運営に関する講演会に於ける講師の細川顕司さんの話を要約しますと、名張市で想定される災害は先ず河川。大切なことは普段から、隣近所との連携強化と家族間でいざという時に備えて話し合っておくこと。 災害時は水・トイレの確保が最大の課題です。自分たちのことは自分で守る意識。その他、避難所の運営での注意点について話がありました」と述べた。 <地域の防犯対策について意見交換があった。> <快適環境部会> 加納快適環境部会長からは特に報告事項はなかった。 <地域福祉部会> 梅本地域福祉部会長からは、特に報告事項はなかった。 以上の報告に対し、出席者からは特に意見は無く3部会の報告は了承された。 山中事務局長から、各事業部会から選出されています評議員さんは、平成26年度定時総会をもって任期満了となります。そこで各部会は新評議員さんを選出いただき、事務局まで届け出ていただきたい旨を述べた。 大垣副会長から、「本日午後、市民公開講座「教えて在宅医療」が武道交流館いきいきで開催されます。ご都合のつく方は、是非ご出席下さい」と述べた。
--	--

3. 名張市人口構成と世帯数資料配布について	引き続き「先日の都市計画説明会で配布された、名張市人口構成と世帯数をまとめた資料をお配りしています。名張市全体、桔梗が丘全体、桔梗が丘、桔梗が丘南、桔梗が丘西の4部に分かれています。事業活動の参考にして下さい」と述べた。								
4. その他	辻森会長からの次のような報告、連絡事項があった。 1. 都市計画の見直しについての地域懇談会が開催されました。地域からの参加者は7人でした。特に質問はありませんでしたが、桔梗が丘南のシャックリ川の川端整備の要望がありました。 2. 桔梗が丘地域として、桔梗が丘西と桔梗が丘を結ぶ連絡橋設置の要望書を名張市に提出したいと考えています。 3. 桔梗丘高校跡地利活用の問題は、土地利用指定は、当桔梗が丘地域は第一種低層住居専用地域となっており、この指定は当面現行どおりと考えています。 4. 昨年民生委員さんが多くの地区で交代されました。協議会として、地域福祉部会を通じて連絡を密にして、共に地域福祉に貢献できるようお願いします。 吉野生活安全部会長から、「普通救命講習の参加申込者が不調です。今回対象の第1ブロックのご協力方を、お願いいたします」と述べた。 以上で会議は終了した。 次回理事会は、平成26年3月22日（土） 時 間 午前9時30分 場 所 桔梗が丘公民館 202号室 議 長 <u>辻森保彦</u>  議事録署名人 <u>吉野孝司</u>  議事録署名人 <u>野邊 葉</u> 								
	<table><tr><td>副会長</td><td>副会長</td><td>総務委員長</td><td>書記</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	副会長	副会長	総務委員長	書記				
副会長	副会長	総務委員長	書記						
									